

# コテクール短編映画祭 福岡 Festival Côté court à Fukuoka

A l'occasion du Hiroshima International Film Festival 2017

広島国際映画祭 2017  
関連イベント

# CÔTÉ COURT

2017.11.28 火 19:00~

会場 アンスティチュ・フランセ九州 多目的ホール

料金：1,000円

お問い合わせ：アンスティチュ・フランセ九州 (Tel. : 092-712-0904)

主催：アンスティチュ・フランセ日本

共催：広島国際映画祭

Mardi 28 novembre, 19h00

Lieu : Espace conférences, 5<sup>e</sup> étage de l'Institut

Tarif : 1.000 yens

Renseignements : Institut (Tél. : 092-712-0904)

Organisé par l'Institut français du Japon

Co-organisé par Hiroshima International Film Festival



INSTITUT  
FRANÇAIS

アンスティチュ・フランセ九州  
Japon - Kyushu

広島国際映画祭2017で上映される短編映画祭「コテクール」の2作品が福岡へ！

上映後には「コテクール」のアートディレクター ジャッキー・エヴラルと

2017年フィクション部門で最優秀賞を受賞した『ユーグ』の監督パスカル・セルヴォを迎え、

アンスティチュ・フランセ日本の映画プログラム主任の坂本安美によるティーチインを行います。

短編映画祭

「コテクール」とは？

1992年に設立された短編映画祭「コテクール」のコンペティションは厳選された現代の映画監督とアーティストを見出ししてきました。この映画祭は毎年6月10日間開催され、アートビデオの上映やパフォーマンス、ライブ、交流会も行われています。

「コテクール」は映画・アートビデオ界のレフェランスとしてフランスの重要な短編映画祭のひとつです。若き才能を輩出し、新しい形の映画を支援し、交流と発見をもたらす映画祭として知られています。自由な形式で撮影された短編作品から現代の映画の傾向や、エクリチュールを見ることができます。

**CÔTÉ COURT**

上映作品

## 『思い出の風景画』

Le Tableau de Laurent Achard (2013年 / 31分 / カラー)

監督：ロラン・アシャール 出演：テレーズ・ルッセル、フレッド・ベルソヌ、パスカル・セルヴォ



©Les Films du Worsó

人生の終焉を迎えたオディールとマルセルは今でもずっと愛し合っている。治療不可能な病に侵されたオディールは入院しなければいけない。最後の日曜日、ふたりは大好きな人達を招待する。

Au crépuscule de leur vie, Odile et Marcel s'aiment toujours. Atteinte d'une maladie incurable, Odile doit être hospitalisée. Le temps d'un dernier dimanche, ils revoient les gens qu'ils aiment.

## 『ユーグ』

Hugues de Pascal Cervo (2017年 / 48分 / カラー)

監督：パスカル・セルヴォ 出演：アルノー・シモン、ドミニク・レイモン、ガエタン・ヴルシュ、パスチャン・オサー



©Barberousse Films

ユーグは40歳。俳優だがもう演じるのにはうんざり。彼はパートナーのセルジュと彼が育った家に引きこもっていた。そんな時、演出家のミシュリンはもう一度舞台に上がることを強く説得する。セルジュは自分が舞台かの二者択一を迫り、ユーグは作品を選ぶ。舞台稽古が始まり家の中でひとりになったユーグは、庭に隣接する牧草地で裸で楽しむ人達を発見する。

Hugues a 40 ans, il est acteur mais ne veut plus jouer. Il s'est réfugié avec Serge, son compagnon, dans la maison où il a grandi. Cependant, Micheline, une metteur en scène, insiste pour qu'il remonte sur scène. Serge lui donne un ultimatum : c'est lui ou la pièce. Hugues choisit la pièce. Alors que les répétitions commencent, Hugues, seul dans la maison, découvre des gens nus s'amusant dans la prairie attenante au jardin.

ゲスト



ジャッキー・エヴラル

Jacky Evrard

コテクール短編映画祭 アートディレクター  
Directeur artistique du festival Côté court

1980年代にクレティユ、ブリュノワ等のプログラム担当を経て、Ciné 104のディレクターに就任。1992年にエビネーシュル＝セヌの短編映画祭が途絶えるとパリ郊外のパンタンに引き継ぐ。以来、25年に渡って短編映画の自由さを生かした作品を好んでセレクトしている。本映画祭はフランソワ・オゾン、アラン・ギロディー、ジュスティン・トリエ、また、2017年短編最優秀セザール賞を受賞したアリス・ディオップなどのちに優れた長編を撮ることになる監督の作品を先駆的に上映している。



パスカル・セルヴォ

Pascal Cervo

映画監督・俳優  
Réalisateur, Acteur

ロラン・アシャール、ポール・ヴェッキアリ、ヴァレリー・マレジャンといった映画監督の作品に多数出演する人気俳優。2014年にはヴァレリー・マレジャンの初の舞台作品にアデル・ヘネル、ガエタン・ヴルシュ、マリー・ロジエらと出演、好評を博す。

監督短編作品に2008年『Valérie n'est plus ici』、2013年『Monsieur Lapin』、2017年『Hugues』(2017年コテクール短編映画祭フィクション部門にて最優秀賞)がある。

進行役

坂本安美

Abi Sakamoto

アンスティチュ・フランセ日本 映画プログラム主任  
Responsable cinéma de l'Institut français du Japon

アンスティチュ・フランセ九州

〒810-0041 福岡市中央区大名2-12-6 ビルエフ tel. 092-712-0904 www.institutfrancais.jp

アクセス：地下鉄赤坂駅3番出口を出てすぐ

